

<紀要>

『日英言語文化研究』 (AJELC Journal) 執筆者および論文タイトルは下記の通りである。

第1号 (2009)

- 石川慎一郎 「英語プレゼンテーション能力の構成要因 — 大学英語教育におけるプレゼンテーション指導の在り方について —」
長谷川修治 「イディオムの構成要素となる主要語の定量・定性分析」
三宅 美鈴 「“Garfield” と『ドラえもん』におけるオノマトペ比較」
河内山有佐 「ある新・旧 CALL 教材における対立表現の男女差」

第2号 (2010)

[論文]

- 関根紳太郎 「日本語文化の協調性と英語文化の競争性 — “差異” と “difference” の場合」
拜田 清 「昭和期の英語教育縮廃論に見る言語文化観」

[研究ノート]

- 岩崎 永一 「日英語の比較 — 比較相関構文の観点からのノート」

[実践報告]

- 森永 弘司 「教養課程の英語クラスでの映画を使用した英詩指導の試み」

第3号 (2012)

[論文]

- 馬場 千秋 「日本人英語学習者向けの英作文評価基準再考 — TOEFL Writing Scoring Guide で採点可能なレベルとは？」
相澤一美・磯 達夫 「小学校周辺で児童が見かけるアルファベット風景」
岩崎 永一 「日本語比較相関構文コピュラ動詞削除における主語の意味的属性」
河内山有佐 「従来のフェアリー・テールと *Tangled* におけるジェンダーの比較分析」
関根紳太郎 「3.11 震災報道にみる対日イメージ分析」
田村不二美 「高校生の英語語彙サイズと英作文力の関係」
三宅 美鈴 「読み聞かせ絵本選定における指標の検討：質問紙調査結果に基づいた選定絵本の形態分析と4つのリーダビリティ指標結果の比較から」

[研究ノート]

- 浅見 吏郎 「和名色名の英語訳 — 『紫式部日記』 及び 『枕草子』 から —」
遠藤 雪枝 “Student Teachers' Autonomous Development through Reflection”
橘 広司 「国際補助語としての英語における「日本英語」の構築 — 「凹型文化」をいかに表現するか —」

第4号(2013)

[論文]

- 橘 広司 「英語教育における EIAL および〈日本英語〉の4つの意義 — 英語教育政策提言への異論として—」
- 栢田 清 「韓国・台湾の外国語教育政策に見る言語文化教育観」
- 馬場 千秋 「小学校・幼稚園教員養成コースにおける発音指導 — 流暢さと正確さの観点から」

[研究ノート]

- 池田 和夫 「語根に焦点を当てた英語語彙習得」
- 長谷川修治 「日本人の英語熟達度に影響を及ぼす要因の予備調査 — 小学生と大学生の比較から—」
- 横山多津枝 「海軍兵学校における戦時下の英語教育：井上成美学校長の英語教育理念」

目 次

第 1 部

[論 文]

「日本文化」は英語でどう表現できるか？

—『坊ちゃん』の三種類の翻訳における翻訳方略に関する一考察—

How Can “Japanese Culture” Be Expressed in English?

—A Consideration Based on Three Translations of *Botchan*—

堀部 秀雄 3

日本人学習者のL2英語の発話量

—母語話者及びアジア圏学習者との比較—

A Quantitative Study on L2 English Speeches by Japanese Learners

—A Comparison with Native Speakers and Other Asian Learners—

石川 慎一郎 15

Donnellan (1966) の帰属的用法と西山 (2003) の変項名詞句

—広義の変項名詞句について—

On the Notions of Donnellan’s (1966) Attributive Use and Nishiyama’s (2003) NP Involving a

Variable: An NPIV in a broader sense

岩崎 永一 27

「there is 構文」に新情報として出現する「定冠詞に導かれる名詞句」

Definite Noun Phrases Admissible in the Existential Construction Provided That They Represent

Addressee-new Information

坂井 孝彦 39

現代英語の背景 — シェイクスピアに由来する表現

Background to Present-day English: Expressions Originated in Shakespeare

杉本 一潤 51

物語で使用される語彙の分析

—ディズニー英語絵本と英国の昔話—

Analysis of Vocabulary Used in Stories: Disney’s English Picture Books and British Folktales

長谷川 修治 63

[実践報告]

教員研修を考える

—協同学習の理論と実践から—

On Faculty Development—from the Viewpoint of Collaborative Learning

吉野 康子

東郷 多津 75

[研究ノート]

Gender-free か Gender-fair か

現代英語における職種名称の使用パターン

Gender-free or Gender-fair?

Usage Patterns of Job Titles in Current English

石川 有香 85

「英語で英語を教える」授業力の枠組みを求めて

In search for the framework of the competence for English classes conducted in English

遠藤 雪枝 97

「題材の練習問題」の質に関する一考察

—2012年度版文科省検定済中学校英語教科書を中心に—

A Study of the Quality of “Exercises for Topics”: With Special Reference to the Junior High School

English Textbooks Authorized by MEXT in 2012

大澤 美穂子 109

小学校における英語音声指導に関する実態調査

A Questionnaire Survey of Teaching English Sounds in Japanese Elementary Schools

三宅 美鈴 上斗 晶代

西尾 由里 119

————— 第 2 部 —————

10年の歩みと私の願い

奥津 文夫 133

言語文化に関する広い知見・論考のさらなる発信を

森住 衛 134

日英言語文化学会 10年の歩み .

..... 135

目 次

[論 文]

図式モデル教材とオンライン即時訂正を組み合わせたリメディアル英文法教育の試み
Does the Combination of Image-schema Based Grammar Method and Online Immediate Corrective
Feedback Enhance L2 Learners' Grammar Acquisition?

新谷 真由 1

通時的に見る日本の言語文化教育観
— 原始・古代を中心に —

The Japanese Mindset on the Teaching of Language and Culture from a Diachronic Perspective
— From Prehistoric Times to the 8th Century —

拝田 清 13

日本の唱歌・童謡英訳比較考 (3)
— 三者が生みだす翻訳スタイルの違い —

A Comparative Study of the English Translation of Japanese Children's Songs (3)
— Translation style differences among three translators —

大塚 孝一 25

日英の自然観の比較
— 産業革命以前まで —

The Difference between British and Japanese Views on Nature before the Industrial Revolution

木村 郁子 37

「甘え」を英語でどういうか?
— 日本文学の翻訳作品に基づく一考察 —

How Can Amae Be Translated into English?
— A Consideration Based on Translations of Japanese Literature —

堀部 秀雄 49

[実践報告]

小学校教員養成課程における一般英語授業実践

—英語教科化を意識した指導—

Practical English Lessons as Liberal Arts in an Elementary School Teacher Training Course:

Anticipating English as an Elementary Subject

馬場 千秋 61

— 目 次 —

| | | |
|---|-------------------------------|-----|
| はしがき | 日英言語文化学会会長 奥津 文夫 | i |
| 本随想集の編集にあたって —三大聖典は随想集の典型?— | AJELC 創立10周年記念随筆集 編集担当理事 森住 衛 | iii |
| ウェールズの言語と風物 | 相澤 一美 | 1 |
| スマートフォン時代の学生と英語学習 | 青木 理香 | 7 |
| 英語・教育・社会雑感 | 浅野 博 | 9 |
| 音楽と言葉と文化 | | |
| —ボーカロイドを使った試み— | 浅見 吏郎 | 11 |
| テレビCMとステレオタイプ | 足利 俊彦 | 15 |
| 想像へのいざない | | |
| —空白と余韻を楽しむ— | 池内 正直 | 18 |
| 地名にみる言語文化 | 池田 和夫 | 24 |
| 平成24年初秋、山陰の町と学び舎と巡る思い出 | 石川 英夫 | 27 |
| 英国紀行 | | |
| —父との思い出— | 伊藤 満里 | 33 |
| 使える英語の学習と効率 | 伊部 哲 | 37 |
| 「言葉」への関心 | 遠藤 雪枝 | 39 |
| 辞書指導のすすめ | 大澤 美穂子 | 42 |
| Communication Speed and Japanese Socio-Cultural Characteristics | Tatsuyuki Ota | 48 |
| 「和」と「融合」を重んずる日本人 | | |
| —「寄せ鍋文化」が育む大和心— | 奥津 文夫 | 54 |
| 小学校外国語活動への危惧 | 小原 弥生 | 58 |
| ニュージーランドの友人を訪ねる（2015年2月、3月） | 加藤 忠明 | 64 |
| 日本語と英語の数の概念の違いに思うこと | 木村 郁子 | 70 |
| <i>Good-bye, Mr. Chips</i> を読んだ頃 | 久我 雅紹 | 72 |
| 英語教育政策改革に貢献した政治家 | 小池 生夫 | 75 |
| 英語辞書の過去・現在・未来と辞書資源 | 小川 貴宏 | 78 |
| 「赤蜻蛉（あかとんぼ）」の英訳考 | 坂井 孝彦 | 84 |
| 英語・スペイン語・そしてテニス | 清水 あつ子 | 90 |
| イングランド古寺巡礼 | 杉本 一潤 | 93 |
| 生きている言葉 | 鈴木 雅子 | 99 |
| 言語と文化と認知的意味世界 | 関根 紳太郎 | 103 |
| <伴のおばさん>と伴新三郎 | 田口 孝夫 | 107 |

| | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|-----|--|
| 生命力私観 | | | |
| —D. H. ロレンスのことなど— | 田中 英史 | 111 | |
| 大学生への英語ライティング指導について | 田村 不二美 | 115 | |
| 小学校における外国語教育 | 寺下 敦敏 | 120 | |
| 主体的な学びをいかに受けとめるか | 東郷 多津 | 122 | |
| わかっていないということ | 外山 徹 | 128 | |
| 私の英語学習史から | 行方 昭夫 | 130 | |
| 鉄道の旅で文化を考察する | 根本 貴行 | 136 | |
| 「おもてなし」「サービス」と教育 | 長谷川 修治 | 142 | |
| 趣味を求めて | 羽鳥 博愛 | 148 | |
| TEIKA English Day を通した学生への動機づけと成長する姿 | 馬場 千秋 | 150 | |
| 英語教育・異文化理解教育と異文化コミュニケーション | 馬場 哲生 | 156 | |
| 学習教材としての英語の諺 | 濱崎 敦弘 | 162 | |
| 「1ミリも無い」から「千里の馬」まで | 坂内 正 | 166 | |
| 『グレート・ギャツビー』における「視線」について | 福永 堅吾 | 170 | |
| アメリカ文化に於ける Edgar Allan Poe 受容 | 藤井 美代子 | 174 | |
| Englishes の音体系の研究に向けて | 藤上 隆治 | 178 | |
| 「等位接続詞の扱い方」をどうやって生徒に伝えるか | 松本 祥仁 | 181 | |
| 老年のための英文学（英詩） | 松山 正男 | 184 | |
| ウーロンゴン大学留学から学んだオーストラリア文化 | 水澤 祐美子 | 186 | |
| Manga とオノマトペ | 三宅 美鈴 | 192 | |
| 文法も文化を反映する | | | |
| —主語省略と基本文型における日英語の違い— | 村田 年 | 196 | |
| 「文化」とは何か | 森住 衛 | 202 | |
| グローバル人材育成を視野に入れた言語・文化教育 | | | |
| —世界の一員としての望ましい人間像の探求— | 山岸 信義 | 208 | |
| 「英文法骨子の全貌」とその可視化図 | 横手 隆弘 | 214 | |
| 『英語青年』に見る明治時代のシェイクスピア | | | |
| —シェイクスピア受容史に学ぶこと— | 横山 多津枝 | 219 | |
| 英語教育のゼミをふりかえって | 吉野 康子 | 223 | |
| 言語コミュニケーションにおける言語文化の大切さ | | | |
| —日英語の言語文化論の視点から Reason を中心に— | 吉村 耕治 | 229 | |
| AJELC 創立 10 周年記念随想集 執筆者一覧 | | 235 | |
| あとがき | AJELC 創立 10 周年記念随想集 編集委員長 小川 貴宏 | 236 | |
| AJELC 創立 10 周年記念随想集編集委員会構成 | | 237 | |